

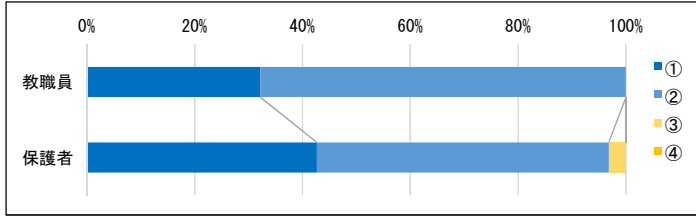
令和2年度 我孫子市立湖北台東小学校 学校評価分析

全体傾向と課題

各項目別の分析（各評価の割合は小数点以下四捨五入で処理をしているため、合計が99%にならないものがありますご了承下さい。）

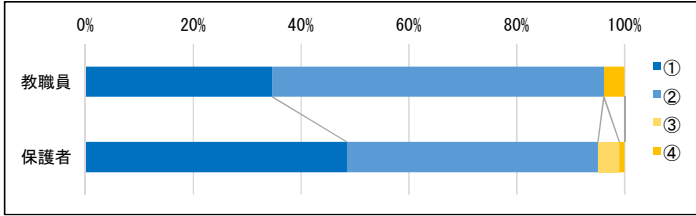
① ② ③ ④
 あてはま 概ねあて あまりあ あてはま
 る はまる ない まらない

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
1	教職員	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.32	3.42	3.74	32%	68%	0%	0%
	保護者	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.39	3.31	3.34	43%	54%	3%	0%



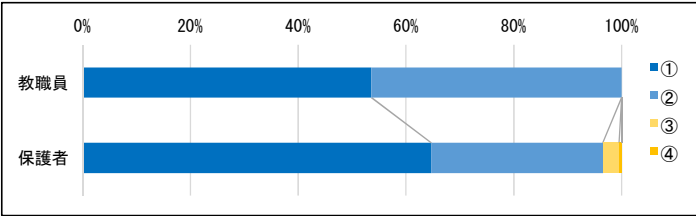
保護者の平均評価は0.08ポイント向上した。感染症予防を心掛けながら教育活動を進めたことが評価されたと考える。教職員の平均評価が前年より下がっているのは、例年と同じ教育活動が実施できない中で、目標達成ができていないと考えたためと思われる。職員には、年度当初、学校経営の重点について説明している。また、教職員の意識を高める為に、人事評価の面接を活用している。今後は、保護者・教職員の評価が共に向上するよう、学校教育目標達成のために全力を注いでいきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
2	教職員	学校は、教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.27	3.38	3.71	35%	62%	0%	4%
	保護者	学校は、日頃の教育活動を保護者・地域に知らせている。	3.43	3.26	3.34	49%	47%	4%	1%



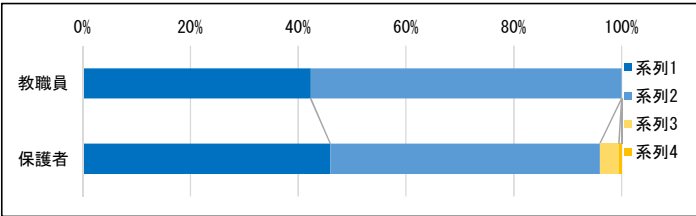
本年度、感染症予防対策のため、保護者の方に学校の教育活動を参観いただく機会を大きく減らした。その中でも、可能な限り学習参観や運動会など工夫して実施した。直接参観できない保護者のため、学校だよりや学年だより、ホームページで学校の教育活動の様子を理解頂けるよう心掛けた。今年度保護者の平均評価は、0.17ポイント向上した。今後は更に具体的な子どもの活動をより多く発信するように努めていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
3	教職員	学校は、来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.54	3.65	3.90	54%	46%	0%	0%
	保護者	学校は、来校者した保護者に対し丁寧に対応している。	3.61	3.44	3.48	65%	32%	3%	0%



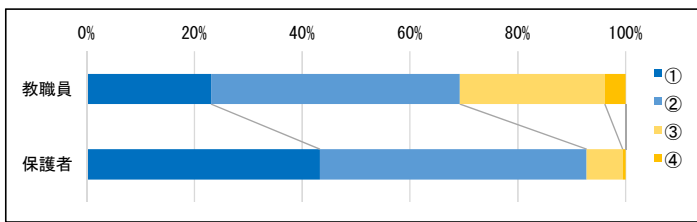
保護者の平均評価が昨年度と比べ、0.17ポイント向上した。職員全体が丁寧に対応するよう心掛けた結果と考える。逆に職員の平均評価は数値が下がってしまった。このことから、職員の保護者対応への意識が向上していることがうかがえる。今後も教職員の挨拶や返答、服装等について常に見直すとともに、保護者や来校者に対して、教職員一同誠意を持ってより丁寧な対応を心掛けていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
4	教職員	学校は、熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.42	3.52	3.58	42%	58%	0%	0%
	保護者	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	3.41	3.33	3.34	46%	50%	4%	1%



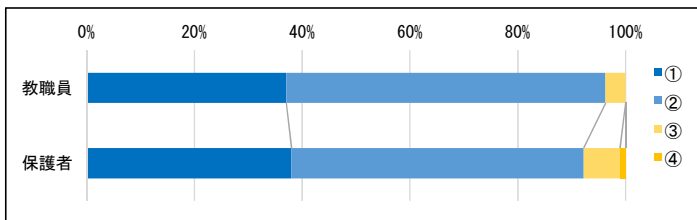
教職員の平均評価は昨年度よりも0.1ポイント下がっているが、保護者の評価は0.08ポイント上がっている。本校の研究主題は「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方」であり、本年度も、全学年での授業を展開を目指し研究を深めてきた。また、若年層研修も外部講師を活用し充実を図ってきた。しかしながら、感染症予防対策のため、実施できなかった授業もあった。その中でも保護者の数値が向上したことは、学習での児童の充実が家庭に届いたものと考えられる。更に子どもたちが「わかって楽しい」と思える授業となるよう今後も校内研修の充実を進めていきたい。

No.	項目	R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
					①	②	③	④
5	教職員	2.88	3.24	3.61	23%	46%	27%	4%
	保護者	3.36	3.28	3.43	43%	49%	7%	1%



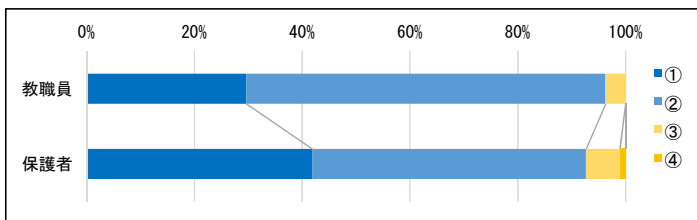
例年、体験的な学習は、教科指導、校外学習や林間学校・修学旅行など全般を通じて取り入れてきた。しかし、本年度は、感染症予防対策のため、各学年、人との交流活動を見直し、実施しないことも多くあった。その結果、教職員に関しては、評価の「2」が多いものの平均評価が0.36ポイント下がった。逆に保護者の平均評価は、0.08ポイント向上した。感染症予防対策で多くの学習活動が例年通り行えないことへの理解が得られていたからと考える。今後も、社会の状況に合わせ、体験的な活動の良さを生かした子ども達の「生きる力」の育成を目指して行きたい。

No.	項目	R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
					①	②	③	④
6	教職員	3.33	3.35	3.52	37%	59%	4%	0%
	保護者	3.29	3.23	3.27	38%	54%	7%	1%



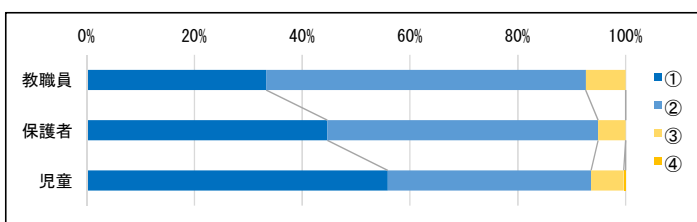
昨年に比べて保護者の平均評価が0.06ポイント向上した。教職員の平均評価は、0.02ポイント下がっている。年々児童数が減少していく中で、広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していることは難しい状況でもあるが、児童も職員も熱心に清掃活動に取り組んでいる。しかし、教職員のポイントが下がったことを考えると、まだ、改善の余地を感じる。今後も、清掃活動を進んで行うと共に、清掃活動に加えて学校を綺麗に大切に使う児童の姿勢を育てていきたい。

No.	項目	R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
					①	②	③	④
7	教職員	3.26	3.42	3.61	30%	67%	4%	0%
	保護者	3.34	3.27	3.28	42%	51%	6%	1%



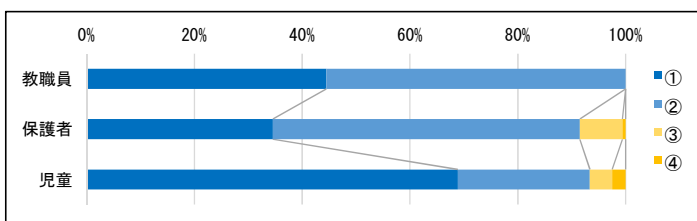
全国でパンデミック等今までの経験だけでは対応に苦慮する災害が起こる中、教職員の平均評価が0.16ポイント下がってしまったが、保護者の平均評価は0.07ポイント向上し、ここ数年で一番高い数値となった。感染症予防対策を含めた防災・安全指導に理解がいただけた結果と考える。本年度、計画的に防災訓練、ミニ避難訓練等を行ってきた。また、教職員の防災訓練の研修を実施するなど、安全指導の充実を図ってきた。今後も防災・安全指導についてしっかりと取り組んでいきたい。

No.	項目	R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
					①	②	③	④
8	教職員	3.26	3.62	3.68	33%	59%	7%	0%
	保護者	3.39	3.29	3.40	45%	50%	5%	0%
	児童	3.49	3.35	-	56%	38%	6%	0%



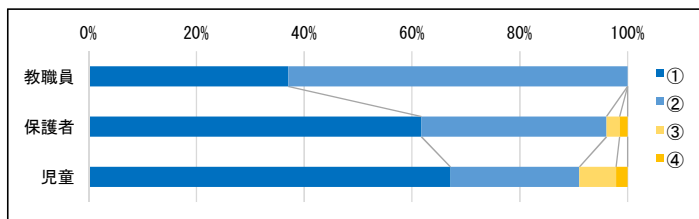
今までは、生活委員会を中心に全校で「挨拶運動」に取り組んできた。本年度は、感染症予防対策ということでもマスク着用の生活の中での挨拶運動となった。そのためか教職員の平均評価は、0.36ポイントマイナスと大きく下がった。しかし、保護者や児童の平均評価はいずれも向上している。社会状況を考え、妥当であると考えられる家庭が多かったためと考える。折に触れて挨拶する事の大切さを伝え、気持ちの良い挨拶ができるように指導を重ねてきたが、まだ受け身の児童もいる。返事や靴の整理について、各学級で取り組み、児童の意識を向上させていきたい。

No.	項目	R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
					①	②	③	④
9	教職員	3.44	3.64	3.71	44%	56%	0%	0%
	保護者	3.25	3.11	3.24	35%	57%	8%	1%
	児童	3.60	3.66	-	69%	24%	4%	2%



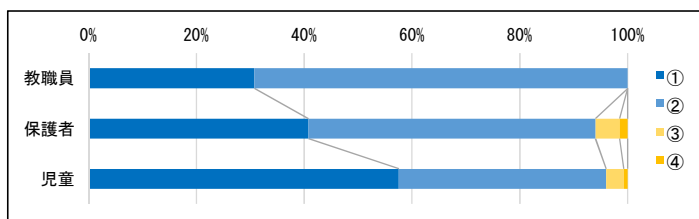
今年度、年2回のいじめアンケートや学校生活アンケート、個人面談などを実施した。さらに、3年生以上の児童についてはQ-U検査を実施した。支援を必要とする児童には、校内委員会を開き、様々な立場の職員の考えを生かして対応を考えてきた。その為、保護者の平均評価は0.14ポイントと大きく向上したが、教職員も児童も共に平均評価が下がってしまった。特に、児童の平均評価が0.06ポイント下がったことを重く受け止め、個々が抱えている問題の原因を考えるようにし、今後の指導の見直しにつなげていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
10	教職員	児童は、学校に楽しく登校している。	3.37	3.35	3.48	37%	63%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.56	3.51	3.59	62%	34%	2%	1%
	児童	学校に楽しく登校している。	3.56	3.53	-	67%	24%	7%	2%



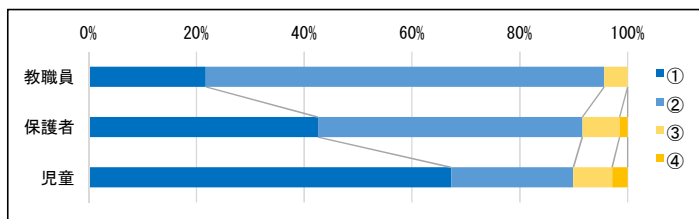
児童の平均評価は0.03ポイント向上した。また、保護者は、0.05ポイント、教職員は、0.02ポイントと共に平均評価が向上した。多くの児童が楽しく学校に登校できていることを嬉しく思うが、評価「3」「4」を合わせて、9%の児童が「楽しい」といえない状況であることを重く受け止め、「分かる授業」「居心地の良い学級づくり」等の充実を目指し、指導を振り返る機会を設定して改善につなげたい。そして、どの児童も楽しく登校できる学校づくりを今後も推進していきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
11	教職員	児童は、熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.31	3.00	3.45	31%	69%	0%	0%
	保護者	お子さんは、熱心に授業に取り組んでいる。	3.33	3.25	3.44	41%	53%	4%	1%
	児童	熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.53	3.43	-	58%	38%	3%	1%



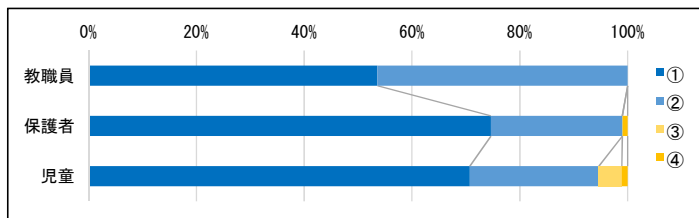
教職員・保護者・児童、すべての平均評価が向上した。特に児童の平均評価が一番高く、児童の学習での充実がうかがえる。また、教職員は評価「1」「2」で100%の肯定的評価と、熱心に授業研究に取り組んでいることがうかがえる。本校の研究主題が「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方」ということから、教職員は教材提示の仕方の工夫、学び合いの場の工夫などを行い、わかり易い授業を目指して研究を深めてきた。感染症予防対策も考えながら授業改善を進めてきたが、今後も社会状況に合わせ、子ども達のやる気を引き出す授業づくり、分かり易い授業づくりを心掛けていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
12	教職員	児童は、宿題や自主学習等の家庭学習を行っている。	3.17	3.08	3.39	22%	74%	4%	0%
	保護者	お子さんは、宿題や自主学習を家で行っている。	3.33	3.31	3.38	43%	49%	7%	1%
	児童	宿題や自主学習など家庭学習を行っている。	3.54	3.59	-	67%	23%	7%	3%



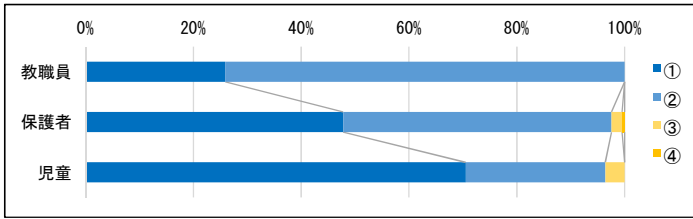
児童の平均評価は0.05ポイント下がっている。逆に保護者・教職員は、それぞれ平均評価が向上している。特に教職員は、0.09ポイント向上と、児童が家庭学習を行っていると感じている。宿題や自主学習への取り組みについて、保護者の評価は「3」と「4」を合わせて8%あることから、家庭学習の習慣の定着にはまだ課題があるともいえる。全体として向上してきているが、家庭学習に関しては、継続的に今後も取り組む必要がある。家庭学習は、学校と家庭とが連携していかなくては十分な成果は得られないので、今後も家庭の協力を得ながら進めていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
13	教職員	児童は、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.54	3.68	3.74	54%	46%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.73	3.67	3.64	75%	24%	0%	1%
	児童	学校行事に楽しく参加している。	3.64	3.66	-	71%	24%	4%	1%



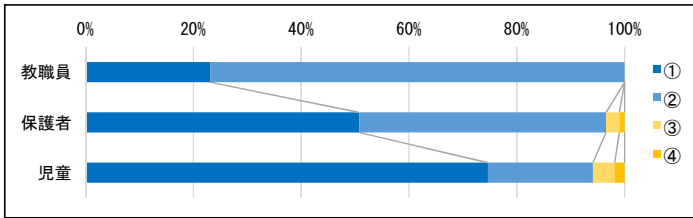
本校は、学校行事を通して一人一人に役割を与え、責任を持ってやり遂げることで成就感や感動を味わうことができるよう、企画・運営を心掛けてきたが、本年度は感染症予防対策のため、例年通りの学校行事を行うことができなかった。規制が多い中でも児童は各行事に対して真剣に取り組む、友達と協力してやり遂げる達成感を味わい成長している。しかし、今年度の平均評価は、教職員が0.14ポイント、児童は0.02ポイント下がってしまった。逆に、保護者の平均評価は0.06ポイント上がった。教職員・児童にとっては十分行事で活動できなかったという気持ちが残ってしまったが、パンデミックの中、保護者には十分行ってくれたと感じてもらえたと思う。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
14	教職員	児童は、社会や学校のルールを守って生活している。	3.26	3.31	3.29	26%	74%	0%	0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.45	3.45	3.48	48%	50%	2%	0%
	児童	社会や学校のルールを守って生活している。	3.67	3.60	-	71%	26%	4%	0%



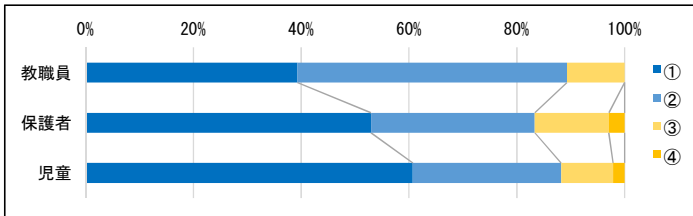
昨年度と比べて、児童の平均評価は上昇したが、教職員の平均評価は0.05ポイント下がってしまった。児童の評価は「1」が71%と高く、保護者の求める姿や教職員の認識している姿と児童の意識とは違いがあると考えられる。本校の児童は、基本的なルールや学校のきまりをしっかりと守ろうとする児童がほとんどである。数値においても肯定的な評価が高い。しかしながら、時折自分の気持ちを優先してしまう部分もあり、ルールを守って生活することの必要性を指導している。特にプライベートな時間のスマートフォンやインターネット等によるSNSの使い方によるトラブルがコロナ禍でもあり、心配される。インターネットの危険性についても指導し、ルールを守らせていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
15	教職員	児童は、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.23	3.35	3.45	23%	77%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.46	3.41	3.52	51%	46%	2%	1%
	児童	学校や学級で好ましい友人関係を築いている。	3.67	3.70	-	75%	19%	4%	2%



教職員も児童も平均評価が下がった。パンデミックの中、友達関係やコミュニケーションの取り方について、それぞれが不安や課題を感じていることがわかる。しかし、児童の評価は、「1」と「2」で94%である。友人関係を保ちながら生活できているという認識が9割を超える児童にあることがわかる。本校の児童は、友達に対して思いやりを持ち優しく接する児童が多い。感染症対策で今までの様な交流ができない社会状況もあるが、今後も、よりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいかということを知るような取り組みを行っていきたい。

No.	項目		R02年度 平均評価	R01年度	H30年度	評価別割合			
						①	②	③	④
16	教職員	児童は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.29	3.46	3.61	39%	50%	11%	0%
	保護者	お子さんは、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.33	3.31	3.46	53%	30%	14%	3%
	児童	外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.47	3.47	-	61%	28%	10%	2%



昨年度と比べて、教職員の平均評価が0.17ポイント下がった。また、児童の平均評価は変わらず、保護者は0.02ポイント向上した。パンデミックの中、十分に外で運動できる状況になく、児童・教職員共に「元気に」とは考えにくいと考えられる。しかし、保護者は、現在の社会状況を理解し、今の状況を受け入れているため、平均評価の向上につながったと考える。運動に関して制約もある現状ではあるが、児童の体力向上を目指し、今後も運動に親しむ児童が増えるように手立てを工夫し取り組んでいきたい。

学校評議員(学校関係者)の意見とまとめ

- ・総合的には厳しい制限の中で、数々の工夫された取り組みをされてこれたと感じています。児童及び保護者以上に教職員の評価が厳しい部分とまた逆の評価についても、“のびしろ”に対する思いの違いからなのだなあと。
- ・学力も大事ですが、元気なこと、他人を思いやれる(いじめはさせない)こと、そして毎日楽しく登校できるそんな“東っ子”にしてあげてください。
- ・楽しく学校生活が送れるよう願っています。
- ・教育内容、活動は、学校だより等を通じて、各自治会、社協、民児協など地域に対して、子どもたちの活動は発信できていると思います。
- ・来校者に対して先生方の丁寧で誠意を持った対応に感謝です。
- ・いじめ問題については、アンケートや必要に応じて校内委員会を開き、対応してくださっていると、ご苦労を感じます。今後もそれぞれの問題原因にそったご指導お願いいたします。いじめによって不登校児童が出ない事を願っております。
- ・行事や体験学習については例年通りではなかったけれど規制をしながら子どもたちに寂しい思いをさせない様努力なさっている教職員に感動しています。
- ・教育内容及び活動は、定期的に回覧板等でその内容を知らせていて非常に良いと思います。また、夏に実施した肝試し大会についても近隣住民への事前連絡があり、とても良かったと思います。
- ・子どもたちの登校状況については、ボランティアの方々大きな声で挨拶したり、ジャンケン等でコミュニケーションを取ったりと良い関係を築けていると思い、子どもたちの笑顔を見ると日頃からボランティアの方々には感謝しております。